日特建設株式会社 NITTOC

本　店

〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-6　4・5・6F　TEL.03(5645)5050（大代表）FAX.03(5645)5051

札幌支店

〒004-0041　札幌市厚別区大谷地東4-2-20　TEL. 011(801)3611(代)　FAX.011(801)3633
旭川営業所　TEL.0166(48)3700
函館営業所　TEL.0138(35)7010
道東営業所　TEL.0155(24)5600

東北支店

〒982-0036　仙台市太白区富沢南1-18-8　TEL. 022(243)4439(代)　FAX.022(243)4438
青森営業所　TEL.017(773)7275
盛岡営業所　TEL.019(606)6120
三陸出張所　TEL.0193(27)8157
秋田営業所　TEL.018(863)3035
山形営業所　TEL.023(641)5988
福島営業所　TEL.024(536)1800

東京支店

〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-6　2F　TEL. 03(5645)5100(代)　FAX.03(5645)5107
群馬営業所　TEL.027(253)2305
宇都宮営業所　TEL.028(637)3567
水戸営業所　TEL.029(246)2700
埼玉営業所　TEL.048(664)8611
千葉営業所　TEL.043(225)8023
横浜営業所　TEL.045(226)4820
長野営業所　TEL.026(228)6761

北陸支店

〒950-0963　新潟市中央区南出来島1-4-4　TEL.025(383)8700 (代)　FAX.025(383)8701
富山営業所　TEL.076(452)2766
金沢営業所　TEL.076(240)0111
福井営業所　TEL.0776(38)6499
佐渡営業所　TEL.0259(55)2332
上越営業所　TEL.025(544)4750

名古屋支店

〒460-0008　名古屋市中区栄1-16-6　TEL.052(202)3211（代）　FAX.052(202)3212
岐阜営業所　TEL.058(275)0206
静岡営業所　TEL.054(202)2090
三重営業所　TEL.059(225)6575

大阪支店

〒541-0048　大阪市中央区瓦町2-2-7　TEL.06(6232)2109（代）　FAX.06(6232)2108
京滋営業所　TEL.075(646)5890
神戸営業所　TEL.078(577)2570
奈和営業所　TEL.0736(69)1070
高松営業所　TEL.087(815)0822
松山営業所　TEL.089(998)2221
高知営業所　TEL.088(861)4171

広島支店

〒732-0827　広島市南区稲荷町2-14　7F　TEL.082(506)2109（代）　FAX.082(506)2111
鳥取営業所　TEL.0857(39)8050
松江営業所　TEL.0852(21)7317
岡山営業所　TEL.086(226)1429
山口営業所　TEL.083(925)4258

九州支店

〒812-0027　福岡市博多区下川端町1-3　TEL.092(271)6461(代)　FAX.092(271)6482
佐賀営業所　TEL.0952(37)6912
長崎営業所　TEL.0957(49)9320
熊本営業所　TEL.096(382)1639
大分営業所　TEL.097(552)4222
宮崎営業所　TEL.0985(23)1406
鹿児島営業所　TEL.099(258)3867
沖縄営業所　TEL.098(875)4400

直轄グラウト部

〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-6　2F　TEL.03(5645)5111(代)　FAX.03(5645)5112

海外事業部

〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-6　5F　TEL.03(5645)5055(代)　FAX.03(5645)5056

ジャカルタ 駐在員事務所（インドネシア共和国）

GENERALI TOWER
GRAN RUBINA BUSINESS PARK
16th Floor Unit G
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan Jakarta 12940
, Indonesia
TEL.+62-21(2994)1582
FAX.+62-21(2994)1991

グループ会社

緑興産株式会社
〒103-0004　東京都中央区東日本橋3-10-6 4F
TEL.03(5645)5150(代)　FAX.03(5645)5153

NITTOC PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA
PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA
GENERALI TOWER
GRAN RUBINA BUSINESS PARK 16th Floor Unit G
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan Jakarta 12940, Indonesia
TEL.62-21-2994-1582　FAX.62-21-2994-1991

SMN 島根アースエンジニアリング株式会社
〒690-0055　島根県松江市津田町310-1 2F
TEL.0852(21)7337　FAX.0852(21)7353

YMGC 山口アースエンジニアリング株式会社
〒753-0015　山口県山口市平野2-3-13
TEL.083(901)1050　FAX.083(925)5166

EHM 愛媛アースエンジニアリング株式会社
〒790-0951　愛媛県松山市天山2-6-12　2F
TEL.089(998)8881　FAX.089(998)8818

FKI 福井アースエンジニアリング株式会社
〒918-8016　福井県福井市江端町24-21-2
TEL.0776(38)8505　FAX.0776(38)8506

CSR報告書 NITTOC 2022

「守る」技術で、つながる、未来へ。

NITTOC 日特建設株式会社

もくじ

社長メッセージ	2
会社概要	3
経営目標（中期経営計画）	4
コーポレート・ガバナンス	5
コンプライアンス	6
人材育成・就労制度	7
ICT活用・機械化による生産性向上	11
安全衛生活動・安全教育	13
SDGsへの取組み	15
現場紹介	17
海外事業	21
環境活動	25
社会貢献	27

■ 編集にあたって

対象期間：2021 年 4 月～ 2022 年 3 月

※ただし当該期間外の取組も一部掲載しています。

対象範囲：当社とグループ会社の活動

発行時期：2022 年 6 月

□ 問い合わせ先 □

日特建設株式会社　経営戦略本部 経営企画部 広報課

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-10-6 Daiwa 東日本橋ビル４・５・６F

TEL 03-5645-5080 ／ FAX 03-5645-5083

ホームページ内「お問い合わせ」フォーム (https://www.nittoc.co.jp/contact/index.html) からのお問い合わせが便利です。

ご意見、ご感想をお寄せください。当社の活動や報告書の改善に役立たせていただきます。

社長メッセージ

○●○

日特建設は、1947 年（昭和 22 年）、ダムの基礎処理を創業工種として始まり 70 有余年、環境防災、維持補修、都市再生分野の専門工事に特化した地質に強い施工会社として評価をいただいております。

昨今、日本では地震や台風・豪雨などによる甚大な災害が頻発しており、建設業界には国土強靭化、および減災化への対応が求められております。また、地球規模で見ても気候変動の要因とされる温暖化対策のためのエネルギー変換と CO_2 削減や環境汚染対策のための産業廃棄物抑制や、脱プラスチックなど喫緊の課題が山積しております。

このような事業環境の中で、当社グループは、2020 年度から始めた中期経営計画 2020（2020 年度～2022 年度）において、働き方改革を軸とした事業戦略を立て、重要施策として人的資源の確保と育成、生産性の向上、法面補修技術の開発、海外事業の強化などの新しい分野への挑戦に取り組んでおります。この中で新技術・施工の自動化・省力化などに向けた研究開発、事業拡大のため、協力業者を含めた技術者の確保と育成、働き方改革を推し進めるための生産性の向上、ICT を活用した業務効率化にも取り組んでおります。

当社の主な業務は、インフラの整備工事、防災工事、環境緑化工事など、国土の安全・安心にかかわる工事です。また会社の使命には、コンプライアンス、社会貢献、環境活動、顧客満足・投資家満足・従業員満足の向上など、多くの事柄があります。これら社会のさまざまな要請や期待に応えること、つまりそれはＣＳＲ（企業の社会的責任）の履行を前提としています。企業に求められる使命や対象者は、工事の品質や安全管理やそれを提供するお客様だけではなく、工事の周辺にお住まいの方々や施工したインフラを使用していただく方々など多岐に及びます。さらにSDGs（持続可能な開発目標）の観点から言えば、世界、そして未来に向けた人々にも及びます。

弊社は、経営理念「基礎工事における総合的な技術力と効率的な経営で、安全安心な国土造りに貢献する会社」のもと、建設業を営む会社として社会的な責任を果たしていく中で、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようにお願い申し上げます。

会社概要

会社概要　2022年3月31日現在（業績、社員数、それ以外は最新）

■商号　日特建設株式会社
NITTOC CONSTRUCTION CO.,LTD

■本店　東京都中央区東日本橋 3-10-6

■設立　1947 年（昭和 22 年）12 月 17 日

■資本　発行済株式総数　41,708 千株
資本金　60 億円
東京証券取引所　プライム市場

■代表者　代表取締役社長　和田　康夫

■社員数（連結）
建設事業　1,047 名
その他の事業　7 名
計　1,054 名
※その他　臨時従業員の年間平均雇用人員 247 人

■業績（連結）
売上高　660 億円
営業利益　45 億円
経常利益　46 億円
親会社株主に帰属する当期純利益　33 億円

■営業種目　総合建設業
・土木・基礎
・地質コンサルタント

■許可　建設業許可　特定建設業
国土交通大臣（特 -3）第 211 号
古物商「機械工具商 他」
東京都公安委員会許可　第 301052119738

■登録　建設コンサルタント登録
登録番号 建 01 第 15 号
測量業者登録
登録番号 第（15）-435 号
地質調査業者登録
登録番号 質 29 第 2 号

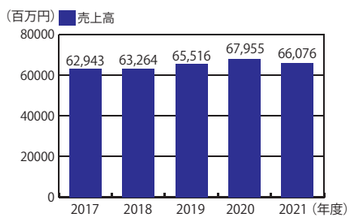
■免許　宅地建物取引業
東京都知事（3）第 91766 号

■指定　土壌汚染調査機関指定業者
指定番号 環 2003-8-1002

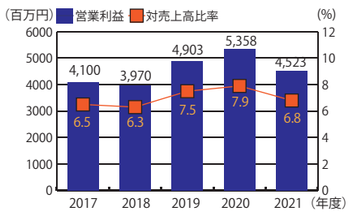
■事業所　本店 (東京)
支店 / 札幌・東北・東京・北陸・名古屋・大阪･広島･九州

業績(連結)　2022年3月31日現在

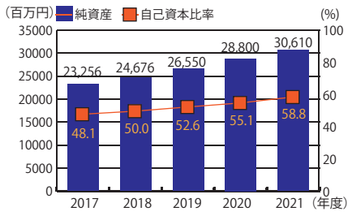
■売上高



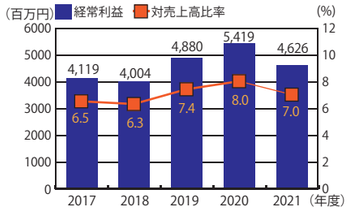
■営業利益・対売上高比率



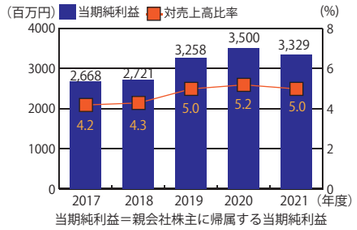
■純資産・自己資本比率



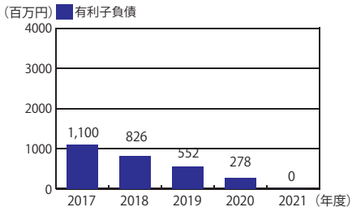
■経常利益・対売上高比率



■当期純利益・対売上高比率



■有利子負債



経営目標（中期経営計画）

経営目標

2020 年 5 月に中期経営計画 2020（2020~2022 年度）を公表しています。2020 年度からの 3 年間を、「人的資源の確保と育成をし、生産性向上を図り成長する期間」と位置づけ、下記の目標達成に向け全役職員一丸となって実行してまいります。

1. 中期経営計画（3 ヵ年）の位置付け

「Next Challenge Stage II」
人的資源の確保と育成をし、生産性向上を図り成長する期間

2. 事業戦略

働き方改革の実現を軸に働き手の確保と生産性の向上を図ると共に、顧客信頼を確保し、市場の期待に応え事業拡大を図る。同時に長期的な建設市場の変化を見据え、維持補修分野における技術力・営業力を強化し、優位性のある技術開発でシェアの拡大を目指す。

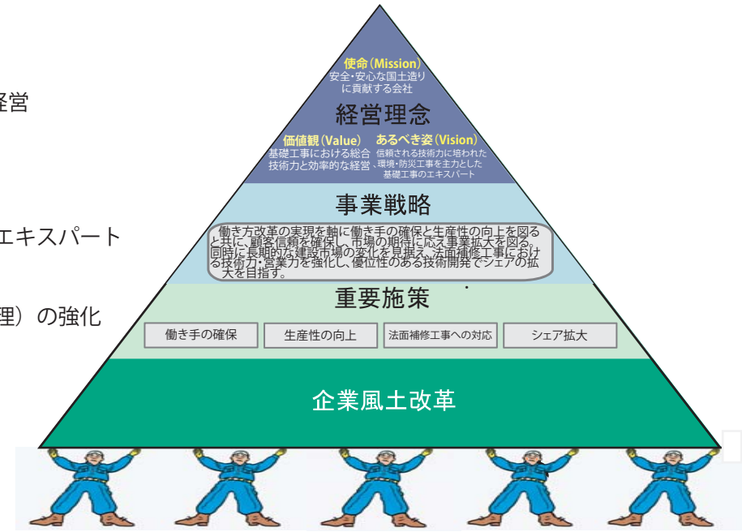
3. 2022 年度 経営理念・経営方針

1) 経営理念

・使命 (Mission)
安全・安心な国土造りに貢献する会社

・価値観 (Value)
基礎工事における総合技術力と効率的な経営

・あるべき姿　(Vision)
信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート



2) 経営方針
①内部統制（コンプライアンス、リスク管理）の強化
②安全と職場環境を重視した経営
③重要施策の実現
④収益性の維持と生産性の向上
⑤キャッシュ・フロー重視の経営
⑥人材の確保と育成

4. 中期経営計画 2020（2020 年度 ~2022 年度）　経営目標

1) 営業面の目標（2022 年度）
①地盤改良工事拡大（完成工事高　200 億円）
②法面補修工事拡大（完成工事高　100 億円）

2) 業績面の目標
①営業利益　3 ヵ年平均：44 億円以上
②営業利益率　3 ヵ年平均：6.0%以上
※2021 年度業績は P.3 参照

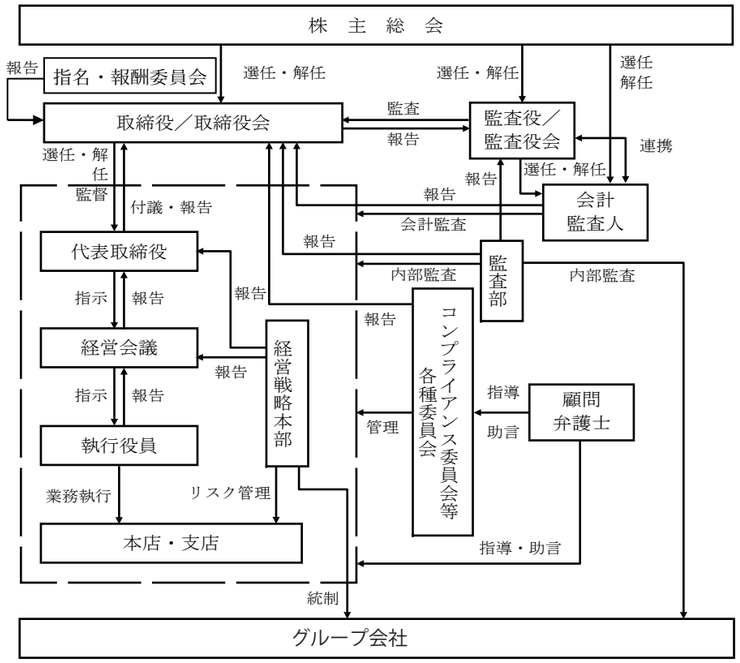
3) 財務面の指標（2022 年度）
①自己資本比率　52%以上
②キャッシュ・フロー　プラス

4) 株主還元の目標
①配当性向 40%以上

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、企業活動を支えるすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ各種法規範のみならず、社内規範や社会の良識・常識も遵守した企業倫理の重要性を認識するとともに、企業の継続的な発展と、社会的信用の獲得、また、反社会的集団に対する不当利益供与の根絶等、経営の透明性、健全性を高め、社会基盤の整備に貢献できる組織の構築をコーポレート・ガバナンスに関する基本的な方針としております。



主な組織の機能

・取締役会

取締役会は、経営の基本方針ならびに執行方針について審議決定するとともに、業務執行に関する重要事項について決定もしくは承認をなすものとする。また、社外取締役の客観的な立場から意見を受けることにより、取締役会の実効性の向上に努めている。開催は、原則として毎月１回開催し、必要がある場合は随時開催する。

・監査役会

監査役会は、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議を行い、又は決議をする。ただし、各監査役の権限の行使を妨げることはできない。開催は、四半期に１回開催し、必要あるときは随時開催する。

・コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、コンプライアンスを社内に定着させていくための具体的な実践計画であるコンプライアンス・プログラムに定める個別課題について協議・決定を行うとともに、コンプライアンス・プログラムの進捗状況を管理する。開催は年４回以上行う。

コンプライアンス

日特建設では、コンプライアンスは重要な社会的責任であり企業存続の基盤であると考え、「行動規範 - コンプライアンス基本方針」に則り、法令や社内外のルールの遵守を徹底してまいります。そのためにコンプライアンス重視の業務体制の構築はもちろん、社員に対するコンプライアンス研修にも力を入れております。

行動規範　－　コンプライアンス基本方針

私たちは、事業を営む者として企業の社会的責任を自覚し、法令や社内外のルールおよびその精神を遵守するとともに社会的良識をもって、以下の通り行動します。

1 私たちは、社是である「日々是進歩」、および社訓である「安全第一、信用確立、技術発展」を常に踏まえた企業活動を行い、経済や社会の発展に貢献します。

2 私たちは、法令や社内ルールを遵守するだけでなく、企業倫理に基づいた企業人として誇れる行動を通じて、社会からの信頼に応えるように努めます。

3 私たちは、「開かれた企業」として適時・適切に企業情報の提供を行なうともにステークホルダーをはじめとする社会からの声に耳を傾け企業活動に反映させるように努めます。

4 私たちは、環境問題への取組は企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。

5 私たちは、地域で働く企業人として地域との融和に努め、地域活動にも自主的に参加し、地域社会に貢献できるように努めます。

6 私たちは、お客様の要望に誠実に応えるとともに、お客様の目線でものを考え、お客様本位の対応を行います。

7 私たちは、取引先と透明性の高い公正で健全な関係を築き上げ、相互の繁栄を考えた取引を行うように努めます。

8 私たちは、誠実かつ健全な企業活動を継続することで、社会から信頼される企業となるよう努めます。

9 私たちは、従業員の人権を尊重し、個性を認め合い、十分なコミュニケーションを心掛けることで、安全で快適な職場を築きます。

10 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体には厳しく対処します。

コンプライアンスの徹底、 教育

1．コンプライアンスの徹底

会社で定めている行動規範 - コンプライアンス基本方針 - を基に、コンプライアンス意識の向上を図っています。

2．コンプラインス教育

（1）研修会

当社では年間を通じて様々な会議で、コンプライアンス研修を行っております。

例：新入社員研修、工事・営業・技術合同研修、営業所長・工事長合同研修、事務管理部課長研修、コンプライアンス・リスク管理推進責任者研修、上級主任・主任研修、キャリア採用者研修　ほか

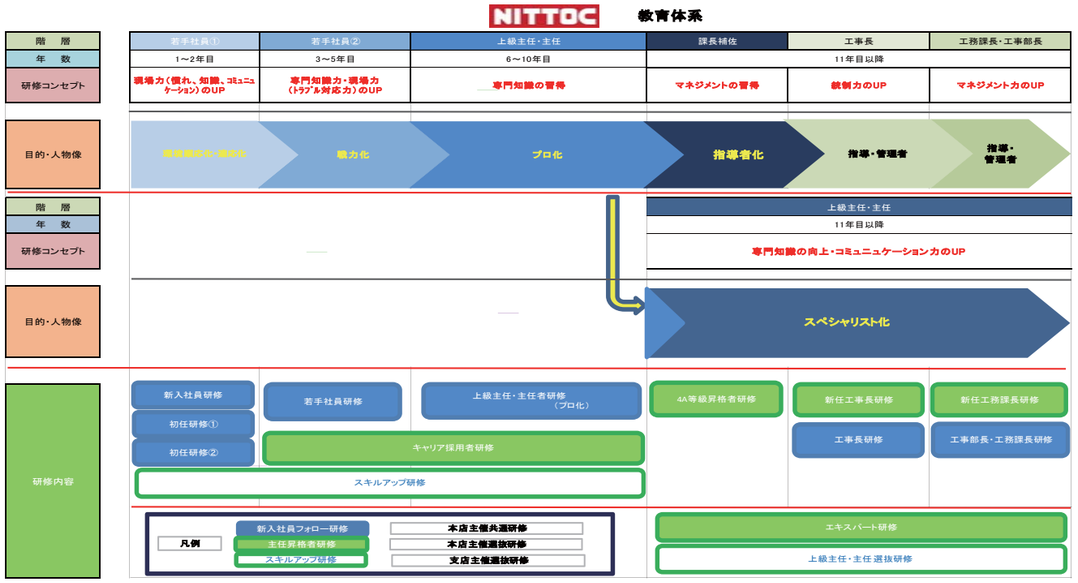
（2）社内報、e- ラーニング、月例会議を通じた教育

社内報に様々な具体例を紹介したコンプライアンス講座を毎月、掲載しています。また e- ラーニングでの定期的な教育に加え、月初に本店・各支店で役員が会社の重要事項を説明する月例会議でも、社員一人ひとりのコンプライアンス意識向上、教育を図っています。

人材育成・就労制度−1

教育制度　社員の可能性を引き出すため、階層ごとに教育制度を設けています。

私たちは下表のコンセプトのもと、未来の夢のため、将来を見据えた教育制度を整えています。さらに社員一人ひとりの気持ちを大切にし、個性を伸ばしていくことで、優れた専門性とさまざまなものごとに興味を持つ、多様性を併せ持った人物への成長を促していきます。



主な研修の様子

主な研修の様子をご紹介します。（表記には、研修要素を含む会議も記載）

4月　新入社員研修
　　新任工務課長研修
　　品質担当者打合せ
5月　新任管理職研修
　　新任工事長研修
　　営業所長・工事長合同研修
　　品質管理責任者研修
　　機材担当者会議
　　技術担当者会議
　　専門部会（法面補修）
　　事務管理部課長研修
　　コンプラ・リスク管理責任者研修
6月　新規内部監査員養成研修
　　若手研修
7月　上級主任・主任研修
　　技術発表会
　　専門部会（地盤改良）
　　技術発表会
　　フォロー研修（2年目）
　　工事部長・工務課長会議
8月　営業部長会議
　　事務若手研修
9月　安全環境品質部長会議
　　キャリア採用者研修
　　エキスパート研修
　　地山トレーナー研修
　　初任研修①
10月　リセットアップ・ミーティング
　　支店業務打合せ
12月　営業部長会議
　　初任研修②
1月　支店業務打合せ
2月　内部監査員スキルアップ研修
3月　安全・品質担当者会議
　　支店長・事業部長研修

就労制度　ライフイベントに合わせ、様々な就労制度を設けています。

各種の就労制度を取り入れ、社員に働きやすい職場を目指しています。
例：育児・介護休暇、休業、短時間勤務、自己啓発研修、ボランティア活動休暇等

育児休暇等取得社員の声

２度目の育児休暇を取得し短時間勤務で復職しました。業務時間が最大２時間短いため、今まで以上に効率的に業務を行うことと周囲の方の理解が不可欠だと感じています。それでも慌ただしい毎日ですが、子ども達の日々の成長に刺激を受けて私自身も成長できるよう頑張っていきます。
※写真は、動物園に行き、子供たちとサル山のサル達を見ているところです。

事業本部　伏見　彩子

社内表彰制度　一人ひとりが輝く会社に

社内の活性化と社員のモチベーション向上を目指し、様々な表彰制度を設けています。

社長賞受賞社員の声

この度、令和三年秋の叙勲に際しまして、はからずも『瑞宝単光章』の栄に浴し、さらに社長賞を頂き、身に余る光栄に感謝致しております。これもひとえに、皆様方の温かいご指導、ご支援の賜と存じ誠にありがたく心から御礼申し上げます。現在、東北支店安全環境品質部長として、安全衛生活動及び施工品質の向上に取り組み、建設業の労務・安全・衛生・福祉等の向上発展を図る為、調査研究し災害防止に日々努めております。微力ではありますが、会社の発展のため、後輩の育成に尽くしてまいります。

東北支店　荒木　司

資格取得支援　社員の資格取得のために、資格手当の支給など様々な支援をしています。

事業を行っていく上で必要な資格について、各種の支援を行っています。特に、現場代理人を務めるために必要な一級土木施工管理技士については、研修や論文添削なども行っています。また、技術士については、日特建設技術士会が支援の中心となり支援を行っています。また、資格取得者には資格手当を支給し、社員の資格獲得へのモチベーションを高める働きをしています。

	手当を支給する資格（取得一時金を含む）
技術系	博士（工学、理学）、技術士、一級土木施工管理技士・二級土木施工管理技士（土木、薬液注入）、一級土木施工管理技士補、一級・二級建築士、一級・二級建築施工管理技士、一級・二級造園施工管理技士、一級・二級管工事施工管理技士、一級・二級建設機械施工管理技士、一級・二級電気工事施工管理技士、第一・第二・第三種電気主任技術者、第一種・第二種電気工事士、甲種・乙種火薬取扱保安責任者、測量士、測量士補、地質調査技士、基礎施工士、地すべり防止工事士、第一・第二種下水道技術検定合格者、推進工事技士、コンクリート診断士、VEリーダー、技能士（一級・二級さく井）、自動車整備士（一級・二級・三級）、甲種・乙種危険物取扱者、労働安全・衛生コンサルタント、公害防止管理者、公害防止主任管理者、グランドアンカー施工士、建築積算士、工事管理者（新幹線・在来線）、ジェットグラウト技士、のり面施工管理技術者、土壌汚染調査技術管理者、水産工学技士（水産土木部門）、一級舗装施工管理技術者、ｼﾋﾞﾙコンサルティングﾏﾈｰｼﾞｬｰ、ダム工事総括管理技術者、小規模ダム工事統括管理者
事務系	公認会計士、公認会計士補、税理士、弁理士、司法書士、不動産鑑定士、不動産鑑定士補、宅地建物取引士、土地家屋調査士、一級・二級・三級建設業経理士、システム監査技術者、ITストラテジスト（システムアナリスト）、システムアーキテクト（アプリケーションエンジニア）、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、ITサービスマネージャ、社会保険労務士、衛生管理者、応用情報技術者（第一種情報処理技術者・ソフトウェア開発技術者）、行政書士、一級簿記検定基本情報技術者（第二種情報処理技術者）、ITパスポート（初級システムアドミニストレーター）、TOEIC試験

人材育成･就労制度 - 2

● 人材育成･職場環境改善への取組み　人材育成・働きやすい職場環境の整備を進めています。

日特建設では、人材育成と社員の働きやすい職場環境作りを行っています。その中で中期経営計画2020（2020～2022年度）の中で、重要施策として、人的資源の確保と育成に取り組み、現業社員（キャリア採用者を含む）の採用増員などに取り組みます。

1.採用の多様化
- 女性技術者、高卒技術者、外国人技術者、理系以外の学部の採用拡大
- 通年を通して、地域限定社員を希望する転職社員の積極採用

2.採用（広報）活動の強化
- ＩＴと組織を活用した時間・場所に取らわれない採用活動を強化
- 若手社員の採用活動への関与強化による、ミスマッチの防止

3.魅力ある職場環境の整備
- 独身寮等の福利厚生面の拡充
- 採用の多様化に応える教育研修制度

4. 若手社員のフォロー強化
- 若手社員の配置ルールにより無理のない社員教育を実施
- 人事（採用担当）面談によるギャップ･ミスマッチのフォロー
- 教育担当者（ブラザー）制度によるフォロー

5.職場環境の整備　（ワークライフバランスの充実）
- 時間外労働時間の削減
- プライバシーの確保（寮、宿舎の完全ワンルーム化）
- 現場終了時の休暇取得促進と計画的な長期休暇の取得年3回（ＧＷ･夏季･年末年始）＋１回の長期休暇制度
- ライフイベントに応じた柔軟な働き方（結婚･出産･子育て･介護時の働く場所･時間）

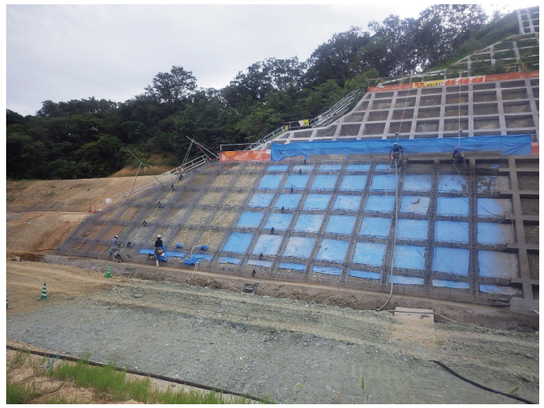
6.教育研修制度のさらなる強化
- キャリアプランに基づく研修体系の整備
- 自己成長感、自己重要感、自己充実感を醸成する環境の強化

7.当計画期間中の時間外労働時間の目標
- 現場終了時の代休の取得～計画的な長期休暇の取得
- 有給休暇取得の奨励

● 就労環境の整備 - 時間外労働の削減

現在、当社では、社員の心身の健全化、ワークライフバランスを勘案し、時間外労働の削減、現場修了時の休暇取得など職場環境の整備に取り組んでいます。

2021年度の社員の1人当たりの年間時間外労働は、4年前に比べて大幅に減少しています。2023年度年間360時間以内の目標に向け、今後も削減を続け、社員のワークライフバランス充実に向け支援をしていきます。



● 就労環境の整備 - 新型コロナウイルス感染症 感染対策

当社は、経営理念である「安全安心な国土づくりに貢献する会社」として、新型コロナウイルス感染症の発生以降、事業継続を念頭に、従業員の感染防止、二次感染によるクラスター発生防止のための管理体制を確立･徹底してまいりました。以下にその取り組み内容を報告致します。

当社感染症防止の基本方針
･個々の衛生管理と新しい生活様式により、社員の新型コロナウイルス感染を防ぐ。
･社員の健康管理により、二次感染の防止を行う。

（１）健康管理･予防の徹底
社員は毎日の体調確認を行っています。加えて、手指消毒･マスク着用･社内でのフィジカルディスタンス確保を実施し、感染予防を徹底しています。
また、感染した場合･感染者と濃厚接触した場合の報告･管理フローを定め、円滑な職場復帰を実現しています。

（２）在宅勤務の実施
緊急事態宣言･まん延防止等重点措置の発令、地域毎の感染状況にあわせたシフト制による在宅勤務を実施しています。

（３）時差出勤の実施
公共交通機関の混雑時間を避け、通勤時の感染リスクを低減するために、時差出勤を行っています。

（４）Web会議の実施
「密」による感染機会を減らすため、会議室の入室人数を制限し、Web会議を積極的に行っています。

（５）懇親会、会食の禁止･自粛
感染リスクが高まるとされる懇親会･会食については、会社として禁止･自粛を行いました。

（６）職域接種の実施
当社社員･その家族を対象に、新型コロナウイルス感染症ワクチンの職域接種を行いました。

（７）ワクチン接種の励行
ワクチン接種当日の特別休暇、副反応が出た場合の有休を認め、積極的なワクチン接種を励行しました。
また、小学校就学の始期に達する子、および要介護状態にある家族について、ワクチン接種の付き添い日、副作用による看護･介護日を看護･介護休暇としました。

● 研修･開発拠点　人材育成と技術開発の強化を進めています。

１．蓮田総合センター

人材育成と技術開発強化のための施設　蓮田総合センター（技術センター）

蓮田総合センターは「人材育成」と「技術開発」を強化する拠点となります。施設は人材育成のための研修施設や技術開発のための研究開発室をはじめ、研修生のための宿泊施設、寮施設を備えています。また、社員間の交流の場や災害に備えて本社のバックアップオフィスの機能も有する施設です。
また、2022年4月より、研究開発のさらなる推進を目的に、技術開発本部の「法面技術開発部」「地盤技術開発部」「ICT 開発部」を集約し「蓮田総合センター」内に技術開発統括部門として「技術センター」を新設いたしました。
この施設を活用し、集中的で、効率的な人材育成と技術開発を進めています。

蓮田総合センター外環（正面道路より）

２.施設の概要

（１）名　　称：日特建設株式会社　蓮田総合センター
（２）所　　在　　地：埼玉県蓮田市駒崎１７７２－１
（３）延　床　面　積：2,999.35㎡
（４）構 造 ・ 規 模：RC造･地上３階建て

３．設備機能

（１）研究開発棟
（２）階層別研修室
（３）施工指導課の所属員寮
（４）研修対象者の宿泊施設
（５）震災時の本店・東京支店のバックアップオフィス

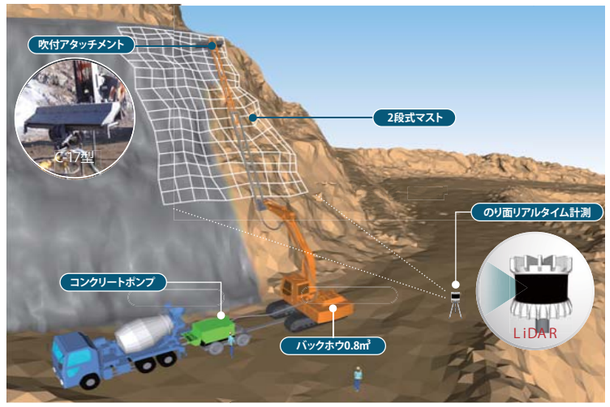
ICT活用・機械化による生産性向上

● ＩＣＴ活用・機械化による生産性向上について

ＩＣＴ技術の活用や機械化による施工の自動化によって、生産性を向上する取組を行っています。

吹付のり面の省力化技術「スロープセイバー」 New!

「スロープセイバー」は、吹付アタッチメントとバックホウを用いたロボット施工により、大幅な生産性の向上が期待できるモルタル吹付工法です。従来の人力による吹付作業と比較し、大幅な工期短縮と省力化・省人化を図ることができます。また、LiDAR を用いたリアルタイムでの吹付厚計測が可能です。

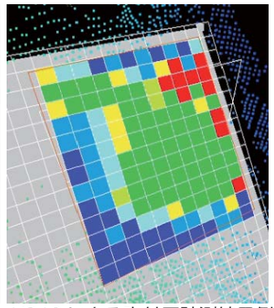


- 人力によるのり面作業が不要
  吹付作業は機械化施工となるため、墜落転落災害の危険があるのり面作業は必要ありません。
- 40 ～ 70%の工期短縮※
  大容量コンクリートポンプを使用することで、人力施工の約 3 ～ 5 倍の吹付施工能力となり、大幅な工期短縮を実現できます。
- 50 ～ 80%の省人化※
  機械化と ICT を用いた集中操作で、吹付中の施工人員は 3 ～ 4 人となります。工期短縮の効果も相まって大幅な省人化が実現できます。
- 施工管理書類の自動作成（開発中）
  出来形のリアルタイム計測結果から施工管理書類を自動作成をできるよう、開発中です。

※現場条件により結果が大きく異なる場合があります

吹付状況

吹付アタッチメント


LiDAR による吹付厚計測結果例

AIを用いたのり面ひび割れ調査

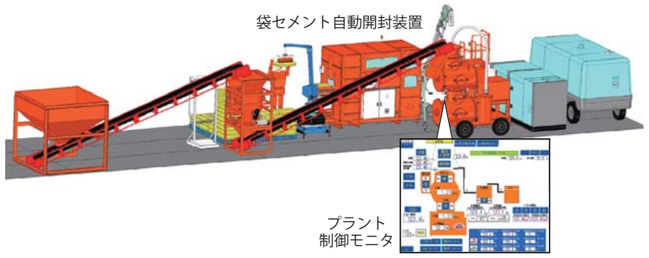
のり面をドローン等で撮影し、大きなひび割れを自動検出できれば、のり面の安全性確認がより容易になります。橋梁や壁面などの平らなコンクリート構造物では、写真からのAIによるひび割れ検知が可能になっています。日特建設は、凹凸や植生のあるのり面でもひび割れを自動検知できるよう、開発を進めています。

AI によるひび割れ自動検知例

吹付プラントの自動化・省力化技術「ショットセイバー」

「ショットセイバー」は、吹付プラントの自動化・省力化を実現した技術です。従来、吹付工における吹付機の操作は熟練作業者の感覚に頼っていたことが多く、吹付機の稼働を自動化することは困難とされていました。

本システムは、専用プログラムとエアバルブの電子制御を組み合わせることでプラント全体の制御・管理を可能とした技術で、材料の製造・圧送の開始や停止などをタッチパネルで操作できます。



- 吹付機を自動運転できる制御プログラムを開発
  ・作業者の熟練度に関わらず、連続して安定した吹付が可能➡吹付材料の品質を確保
- 袋セメント自動開封装置を開発
  ・重労働作業であった袋セメントの投入作業を軽減

袋セメント自動開封装置「ラクットマン」

「ラクットマン」は、モルタル吹付において人力で行っていた袋セメント開封、投入の作業を自動化した装置です。

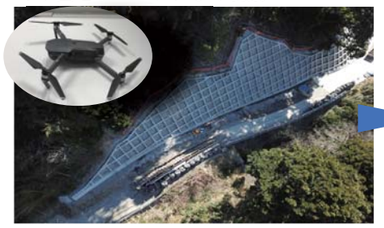
・セメントを荷台に乗せた後は、全て自動運転
・開封したセメントは、粉体搬送機で吹付機に自動投入
・セメントの空袋はプレートで押し出され、機外に自動排出
・袋セメントハンドリングマシンでセメントの格納を省力化

セメント収納　自動開封　吹付機に投入　空袋の搬出

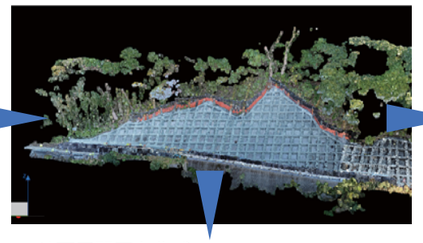
のり面３次元モデルの活用

ドローンで撮影した写真から、のり面の３次元データを作成します。これをPCソフト上で操作することにより、のり面に登ることなく現地状況や出来形を確認したり、任意の断面線やのり面展開図を作成することが出来ます。

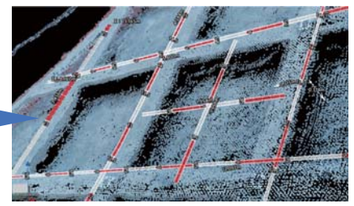
のり面をドローンにより撮影

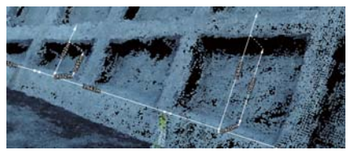


写真から３次元モデルを作成



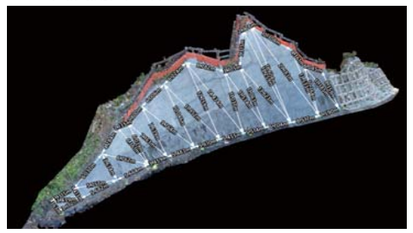
のり枠の出来形を計測





※従来の出来形測定状況

のり面展開図を作成



安全衛生活動・安全教育

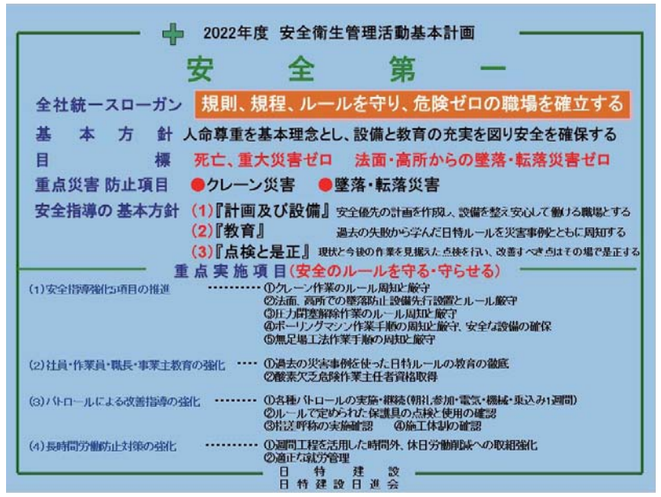
● 安全・衛生への配慮　安全に安心して働ける職場環境の整備を進めています。

日特建設は、社員、協力業者の社員を含めた工事に関わる全ての人が、安心して働ける職場環境を整備することは企業の重要な責務であると認識し、安全・衛生環境の整備と教育に力を入れています。

■安全衛生管理活動基本計画

1．安全衛生管理活動基本計画の策定・重点実施項目

日特建設では、本店の安全環境品質本部で安全に関する基本計画を立て、その計画に則り、各支店の安全環境品質部が、現場代理人に安全活動の指導を行います。また、その計画の中で、安全指導の基本方針を3つ設けており、そして比較的事故の多いものを重点実施項目として5つ選び、それに関する事故の発生を特に力を入れて管理しています。



■安全教育の実施

当社では、社員や協力業者社員が現場等で事故を起こすことがないように、安全活動に必要な様々な教育を実施しています。

1．新入社員への安全教育・・・　当社では毎年4月、入社時に安全教育を行っています。法面実習などを実際に体験して安全設備の使い方を学び、作業員への管理・指導に役立てるよう学んでもらっています。

2．社員への安全教育・・・　当社ではその他、社員に対しても研修を行っています。毎年、集合教育（フォロー研修や若手研修など）では安全教育を行っています。また、定期的に各支店で社員に対して安全教育を行っています。

3．動画での安全教育・・・　2019年度より、動画（YouTube）を使った安全教育を始めています。動画はすべて3分以内の短時間にまとめ、危険個所と安全作業がよくわかるように、字幕(外国語含む)と音声でわかりやすく表現しています。今までは作業手順書などで、作業の危険を確認していましたが、簡単に、分かりやすく確認することができます。当社では安全教育や新規入場教育、朝礼、KY、予定外作業時の安全教育時に活用しています。

新入社員研修（ロープ高所作業に係る特別教育）

フルハーネス特別教育

■安全パトロールと協力会社への教育

1．安全パトロールの実施

日特建設では、本店の安全環境品質本部主導のもと、各支店の安全環境品質部が主体となって各現場の安全パトロールを行っています。土木工事では、現場ごとに作業環境、状況はそれぞれ異なります。その現場の安全管理の状況を現場代理人だけでなく、本店や幹部の視点でもチェックすることで、事故を発生させない安全な現場・職場環境を目指します。

2．協力会社（事業主）への教育

事業主（協力会社の社長や幹部）に対して、過去の災害事例に基づく災害防止教育の実施や法改正時の改正ポイントの解説、事業主パトロールの実施率の調査報告などを含めた講習を随時行っています。

安全パトロールの様子

安全パトロールの様子

■日進会と安全衛生推進大会

1．日進会（協力会社）と共に安全動を推進

当社の業務に、協力会社の活躍は欠かせません。そこで当社と協力会社でつくる日進会では、協力会社が継続的に発展するように技能実習や安全教育を行い、そして環境設備を整えています。さらに、日進会の会員企業には、優先的に工事を発注し、安全装備品の割引販売も行っています。その他、コミュニケーション向上のため、親睦会でゴルフ大会なども開催しています。（※新型コロナウイルス感染症拡大期は自粛しています。）今後も、日進会と当社はともに協力し合いながら発展し、安全活動を推進していきます。

2．日特建設日進会 、安全衛生推進大会

毎年6月に、当社の安全環境部の社員と全国の協力会社の代表者を集めた安全推進大会を開催しています。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、感染対策をしたWEB会議システムを使った安全衛生推進大会が開催されています。また、他の模範となる優秀な安全成績を収めた表彰については、協力会社6社が表彰されています。

本店の安全衛生推進大会

支店の安全衛生推進大会

SDGsへの取組み

日特建設 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

日特建設は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。「基礎工事における総合的な技術力と効率的な経営で、安全安心な国土づくりに貢献する会社」という経営理念のもと、保有技術を通じて社会的課題に取り組み、SDGs達成に貢献します。

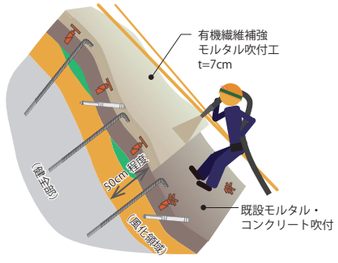
社会インフラの整備

社会インフラの機能向上や長寿命化を図る技術の普及

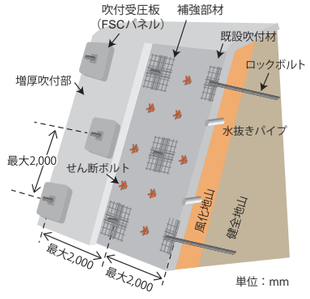
・のり面構造物の健全性評価・対策

● Frame Doctor 工法

● ニューレスプ工法



● 吹付受圧板工法 FS Cパネル



災害復旧

安全・安心な住み続けられる社会づくり

生物多様性保全、CO_2発生量抑制

脱炭素社会への貢献・持続可能な環境配慮技術の推進

・表土利用 ➡ リサイクル緑化
・CO_2削減 ➡ ジオファイバー工法、Newスリーブ注入工法、ニューレスプ工法
・水力式発電 ➡ ダムグラウト、基礎処理
・送電線 ➡ 小口径杭

持続可能な基盤づくり

ICT を活用した次世代技術の開発による建設就業者不足・働き方改革への対応

・ICT活用 ➡ のり面3次元モデルの活用、Grout Conductor 等
・省力化・省人化 ➡ スロープセイバー、ショットセイバー
・AI活用 ➡ ひび割れ検出

● スロープセイバー

● カエルドグリーン工法

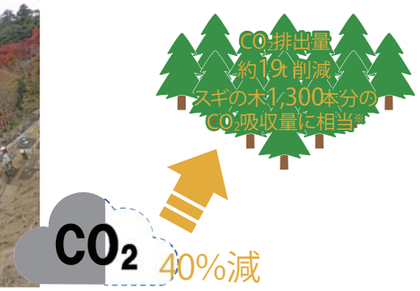
沖縄防衛局発注の敷地造成工事（与那国島）において、与那国島の貴重な生態系や自然環境を保全するために以下の課題がありました。

・島内に植物や土壌を持ち込まない
・敷地造成で発生したすき取り土（表土）を再利用する
・島外へ建設発生材を持ち出さない
・赤土を海へ流出させない
・台風等の厳しい気象条件にも対応できる

カエルドグリーン工法は比較的多くの表土を生育基盤材として利用することが可能で、高い耐侵食性を有することから採用に至りました。また、多くの表土を使用することから、種子の混合割合が高く比較的早期の緑化が可能であることも大きな採用理由となりました。

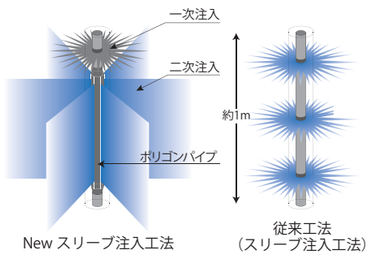
● ジオファイバー工法

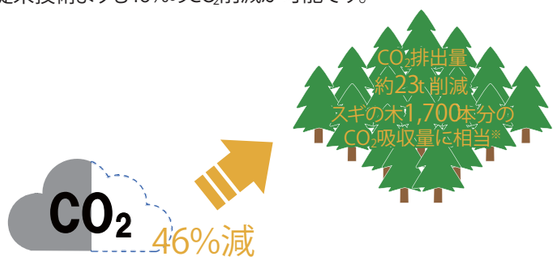
ジオファイバー工法は、吹付のり枠工に替わるのり面保護工法です。繊維と砂で構成される補強土であるため、CO_2排出量の多いセメントを使用する必要がありません。そのため、セメント構造物である吹付のり枠工と比較した場合、CO_2の排出量は40%削減することが可能です。ジオファイバー工法は緑化工法でもあることから、植生によるCO_2吸収効果も期待できる工法です。



● New スリーブ注入工法

Newスリーブ注入工法は、新型の注入パイプ「ポリゴンパイプ」による長い浸透注入区間を可能とした地盤注入工法です。従来技術の約10倍の長さとなる二次注入の区間長で高速注入が可能です。また、広い注入区間でも施工可能であるため、注入孔数の削減が可能です。これらのことにより、使用燃料や資材の削減が可能となり、従来技術よりも46%のCO_2削減が可能です。





※ 杉の木換算:杉の木（樹齢 50 年、高さが約 20～30m）は、年間約 14 kg-CO_2の二酸化炭素を吸収するとされています。環境省/林野庁「地球温暖化対策のための緑の吸収源対策」

現場紹介−1

当社は、「環境防災」「維持補修」「都市再生」の分野で、社会ニーズに応える新技術を生み出し、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献していきます。そして、私たちにできる仕事をしっかりと着実に行い、震災復興及び防災・減災への貢献につなげていきたいと考えています。

● 北海道胆振東部地震 復旧・復興への取組み

■ 幌内地区Ｔ復旧治山工事ほか１工事（北海道勇払郡厚真町）

2018年9月6日に最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生しました。その地震により、厚真町の広範囲で土砂崩れが発生しました。この工事は地震により崩落した厚真町高丘地区法面の保護を行いました。勾配は比較的緩い勾配でしたが、安全面を考え、多くの場所で現場吹付法枠で施工をしました。

［発注者：北海道胆振総合振興局 注文者：木村・大基地震災害復旧工事特例共同企業体
概要：現場吹付法枠工（F200）　植生基材吹付工　植生ｼｰﾄ設置］

施工中

完成後

● 復旧・復興への取り組み

■ 久喜地区災害関連緊急治山工事（岩手県久慈市）

2019年10月の台風19号で法面が崩壊し、直下の道路に土砂が流出しました。その法面の緊急治山工事です。工事ははじめに、掘削岩や堆積土を搬出し、その後1ｔケーブルクレーンやモノレールを設置して資機材を運搬しました。法面上段部は法枠をHiSP工法にて施工し、さらにSD工法にてロックボルトを挿入しました。また、法面中段部と下段部については、法枠をHiSP工法工法にて施工しました。

[発注者：東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署　注文者：山口建設株式会社 概要： 法枠工、鉄筋挿入工]

施工前

施工後

● 復旧・復興への取り組み

■ 令和2年度別所浄水場災害復旧法面工事（埼玉県秩父市）

令和元年10月の台風19号により、埼玉県秩父市の浄水場は、法面が崩落しました。工事は、崩壊した浄水場の上部にある崩壊箇所について、雨水処理のための地下水排水工を行いました。さらにアンカーと受圧板を施工し、法面の安定化をはかるとともに、景観に配慮し植生基材を吹き付け、緑化を行いました。

［発注者：秩父広域市町村圏組合 注文者：守屋八潮建設株式会社 概要：アンカー工、受圧板設置、植生基材吹付ほか］

施工中

上部完成、下部施工中

■ 公共道路橋りょう災害復旧事業応急本工事川島大橋澪筋掘削工事（岐阜県各務原市）

2021年５月豪雨の影響で岐阜県各務原市の県道に架かる川島大橋にて右岸側の橋脚1本に変位が発生しました。変位量は、上流方向に39ｃｍのずれ、23ｃｍの沈下です。基礎部の詳細調査結果より、ケーソン基礎の下に空洞ができたことによる傾きであることが確認されました。対策工として、パフェグラウト高強度タイプで充填注入を行いました。施工内容としてはケーソン基礎を貫通する注入管を４か所建て込み、水中カメラで空洞を確認後圧力管理を行い充填工を行ました。７月初旬より施工を開始し、8月の台風時期を前に充填工事を完了しました。

［発注者：岐阜県岐阜土木事務所 注文者：株式会社市川工務店　概要：空洞充填工（パフェグラウト注入）］

施工中

施工中

現場紹介−2

○●○

当社は、「環境防災」「維持補修」「都市再生」の分野で、社会ニーズに応える新技術を生み出し、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献していきます。そして、私たちにできる仕事をしっかりと着実に行い、震災復興及び防災・減災への貢献につなげていきたいと考えています。

● 復旧・復興への取組み

■ 令和2年度　災害復旧関連緊急治山事業設計第1号（京都府京都市）

2020年7月8日に発生した豪雨により叡山電鉄の貴船口駅付近の線路脇法面が崩壊し、線路上に倒木や土砂が堆積する事態が発生しました。この工事では、その崩壊した法面の保護工事を行いました。本工事では、早期電車運行を行う目的として通常とは異なり法面下部より施工しました。そして下部を施工、運行再開後に法面上部の施工を行い、単管、養生シート等を使用して落下物防止対策を万全に行い、線路近接工事にて施工しました。

［発注者：京都府京都林務事務所　概要：吹付法枠工(F300,200)、鉄筋挿入工、植生基材吹付工、植生マット工ほか］

施工前

完成後

■ 令和3年度多伎町災害復旧その3工事（島根県出雲市多伎町〜太田市朝山町）

2021年8月中旬の豪雨により、山陰地方の各地で土砂災害が発生し、山陰地方の主要道路である国道9号の法肩が一部崩落し、全面通行止めとなりました。あわせて国道9号の海側に並走するJR山陰本線も運休となりました。当工事ではその復旧工事を行いました。工事で当社は、水抜きボーリング工 、モルタル吹付工他を担当しました。応急復旧工事後、JR山陰本線は10月2日に開通し国道9号は10月18日より片側交互通行による開通を果たしました。

［ 発注者：国土交通省 中国地方整備局　松江国道事務所　　概要：集水ボーリング工 、モルタル吹付工、ロックボルト工

施工中

完成後

● 防災・減災工事

■ 関越自動車道東松山地区法面対策工事（埼玉県東松山市）

この工事は、2017年３月の地盤変状調査で対策を要する箇所として抽出され、大型土のうにて応急対策されていた箇所を本復旧する防災対策工事です。工事は崩落の危険がある土砂を撤去後、崩落対策として、雨水の処理を行うため水抜きボーリングを施工しました。その後かご枠を設置し、軽量法枠にて表面保護を行いました。

［ 発注者：東日本高速道路株式会社 関東支店　概要：かご枠工、拾土掘削、種吹付工、用排水溝］

施工中

完成後

■ R2長岡国道管内防災対策工事（新潟県長岡市）

新潟県長岡市と柏崎市を結ぶ主要な道路である国道8号脇の法面が大きな地震時にも崩壊せず、道路の安全が保たれるように行う法面の耐震補強工事です。この工事は、4工区、20ｋｍに点在していました。工事は、地滑り対策として鋼管杭工、盛土表層崩壊対策でクモの巣ネット工、既設モルタル吹付面にF300法枠工と鉄筋挿入工を施工しました。

［ 発注者：国土交通省　北陸地方整備局　長岡国道事務所　注文者：丸高建設株式会社　概要：モルタル吹付、法枠工、簡易吹付法枠工、高強度ネット工］

完成後（黒川工区）

完成後（小黒須工区）

海外事業−1

●海外展開について

インドネシア共和国は人口約2.7億人を抱え、高い経済成長を続けています。しかし、交通渋滞が常態化するなど、インフラについてはいまだ未整備の状態です。
そこで当社では成長戦略の一環として、高い成長を続けるインドネシアのインフラ工事の受注を目指していきます。またインドネシアだけにとどまらず、成長する東南アジア地域のインフラ工事の受注も目指します。

■ インドネシアの子会社 PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA

当社は、2012年9月にジャカルタ駐在員事務所を設け、現地法人設立の調査などを続け、そしてPT PANCA DUTA PRAKARSAとの間で、インドネシア共和国国内における建設事業を行う合弁会社を設立することを決議し、2015年10月に、日特建設株式会社とPT PANCA DUTA PRAKARSAとの間で合弁契約を締結しました。その後PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAを設立し、2016年4月より営業を開始し、6年が経過しました。
当社は、設立した連結子会社PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAにおいて、インドネシア共和国国内のインフラに関する法面、地盤改良などの専門工事の受注に向けた受注活動を行っています。

合弁会社の概要
(1) 商　号：PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA
(2) 代表者：中川昭彦
(3) 所在地：インドネシア共和国 南ジャカルタ市
(4) 営業開始年月：2016年4月
(5) 事業の内容：インドネシア共和国内における建設事業
(6) 決算期：3月期
(7) 資本金：51,000百万インドネシアルピア（約439百万円）
※インドネシアルピア=0.0086円で計算しております。
(8) 株主構成：日特建設㈱：65%、PT PANCA DUTA PRAKARSA：35%

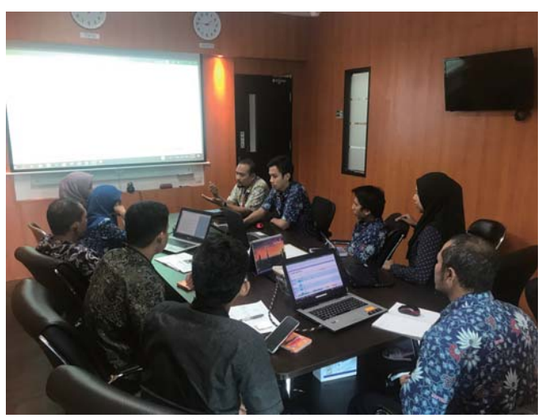
住所：
GENERALI TOWER GRAN RUBINA BUSINESS PARK 16th Floor Unit G, Kawasan Rasuna Epicentrum Jl. HR Rasuna Said, Jakarta 12940, Indonesia
TEL.62-21-2994-1582
FAX.62-21-2994-1991

PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA　ホームページ
https://www.nittoc-id.co.id/

●社員教育について

PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAでは、所属する社員について、定期的に研修を行い、社員のレベルアップに務めています。

■社員研修の実施について
技術、安全担当社員が、当社の建設技術や安全管理などを学ぶために、定期的（月に1回程度）に研修を行っています。9月には、10人が参加し、斜面安定や法面対策工を勉強を行いました。それ以外も、月に１回程度の頻度で、集合研修を行っています。今後も、定期的な研修を続け、社員のレベルアップをはかっていきます。


技術研修会の様子1

技術研修会の様子2

●安全大会・PTNCI 6周年パーティーについて

6周年記念パーティーの様子

6周年記念のケーキ

5周年表彰

毎年1回、従業員を集めて安全大会を開催し、安全意識の向上を図っています。2021年11月17日、PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAの6周年記念パーティーと安全大会が行われました。今年も新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、WEB会議で自宅や各現場から社員が参加し行われました。
安全大会では、2020年度の日本とインドネシアの災害事例が紹介され、続いて同社が現在施工している、または直近で施工開始する工事の災害ケーススタディが行われ、法面、電気関係の災害事例と共に安全作業について周知徹底が行われました。また6周年記念パーティーの中で、勤続5年を迎えた従業員等の表彰が行われました。

●コミュニケーション活動について

レクリエーション活動を活発に行い、社員の一体感の醸成を図っています。
昨年度は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、レクリエーション活動は控えましたが、例年、社員間のコミュニケーションを円滑にするために、様々なレクリエーション活動を行っています。

■ ジャカルタ「絆」駅伝に参加
毎年、ジャカルタで開催されるジャカルタ「絆」駅伝に続けて参加しています。この駅伝はインドネシアと日本との交流促進のために毎年開催されるチャリティーイベントです。2015年から続けて、この駅伝大会に参加しています。2018年は3チーム、12名、2019年は4チーム、16名が参加しました。イベントで協力したことによるチームワークの醸成が、仕事上でも良い影響を与えています。

過去のマラソン参加時の様子

■社員が参加するレクリエーション活動
11月のPT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA 設立記念日に合わせて、社員と家族が参加するレクリエーション活動を開催しています。昨年度は前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため実施はできませんでしたが、定期的な実施により、社員間のコミュニケーションが円滑になるように活動しています。そのほか安全大会などで社員、現場のワーカーが集合する機会にレクリーエーシン活動が行われています。2018年8月、インドネシア中部ジャワの現場では安全大会後が行われました。その後にレクリエーション活動として景品が当たるくじ引き大会や、各チームに分かれてのフットサル大会が開催されました。

2018年安全大会後のレクリエーション参加者

過去のフットサル大会参加者

海外事業-2

● 海外工事紹介

インドネシア共和国では、駐在員事務所開設から子会社設立を経て、着実に施工実績を積み重ねています。インドネシアで手掛けた工事をご紹介します。

■セントラルジャワ火力発電所新設工事
CENTRAL JAVA PROJECT COAL FIRED POWER PLANT

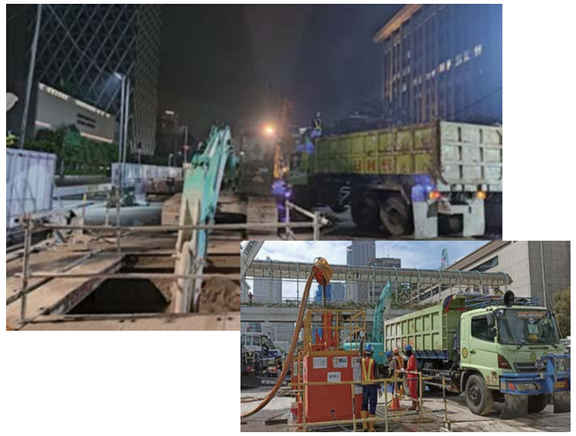
ジャワーバリへの電力供給を目的に、インドネシアで初となる超々臨界圧ボイラーを利用した2,000メガワット規模の石炭火力発電所です。当社は石炭灰捨て場で発生した盛土の地すべり対策工事を担当いています。

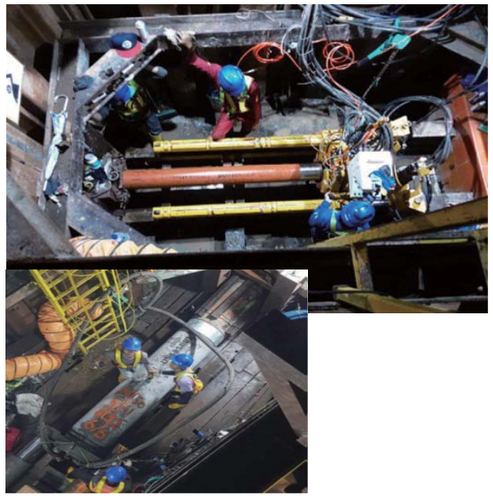
発注者　：PT Bhimasena Power Indonesia
（SPC、伊藤忠・電源開発ほか）
注文者　：三井E＆Sエンジニアリング - Murinda JO
工事場所　：西ジャワ州バタン
工事目的　：超々臨界石炭火力発電所の新設
工種・数量　：CDM工、パワーブレンダー工
工　期　：2021年10月～施工中

■ジャカルタ大容量高速輸送新設工事（地下鉄新設）
JAKARTA MASS RAPID TRANSIT PROJECT

ジャカルタは経済活動の中心として目覚ましい発展を遂げています。しかし、慢性的な交通渋滞が発生するようになり、この交通渋滞緩和を目的に地下鉄を新設することになりました。当社はこの地下鉄工事で、底盤改良工事と坑口防護工事を担当しています。

発注者　：PT MRT JAKARTA（地下鉄 建設・運営会社）
注文者　：Shimizu - Adhi Karya JO
工事場所　：ジャカルタ首都特別州
工事目的　：地下鉄の新設
工種・数量　：ジェットグラウト工、薬液注入工他
工　期　：2020年10月～施工中





■マカッサル市北西域下水幹線工事
Cement Soil Mixing Demonstration Work
Development of Makassar City Northwest Zone

東部インドネシア最大都市であるマカッサル市は経済成長に伴う急速な人口増加にインフラ整備が追いついておらず、その克服が課題となっています。そのインフラ工事中で、当社は下水道の新設工事の施工を担当しています。

発注者　：公共事業省
注文者　：PT ADHI KARYA(Persero)Tbk＝1現場
PT WASKITA KARYA(Persero)Tbk＝2現場
工事場所　：南スラウェシ州マカッサル
工事目的　：下水の新規整備工事
工種・数量　：推進工 450mm L=224m（5スパン）、600mm L=736m（10スパン）
工　期　：2020年8月～施工中

● 海外社員の紹介

海外研修や語学研修、海外工事現場での従事、インドネシア人等の外国人技術者の教育を通じ、国際的な人材育成を図っています。当社に勤務する海外社員のご紹介です。

私の大学の恩師が、PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA（PTNCI）と協力関係にあったため、紹介を受け、2017年8月、PTNCIに入社しました。入社後、数年間はアシスタントエンジニアとして従事しました。現場管理業務に約1年半従事した後、日本で約3ヶ月間、原価管理方法に関する研修を受けました。日本での研修の中で、日本の現場の状況、人員管理、資材管理、段取りなど、多くのことを学びました。現場運営の知見を深めたことで、プロジェクト予算作成の精度を上げることができました。日本品質、技術をインドネシアの建設現場に適用することで、顧客の課題解決につなげることができ、インドネシア地盤工学業界の発展に貢献できればと考えています。

アンガ　アディット　フィルマンシャフ（ANGGA ADHITYA FIRMANSYAH）
所属：PT NTTOC CONSTRUCTION INDONESIA　　国籍：インドネシア

私は2017年8月に、調達、輸出入担当としてPT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAに入社しました。当社に入社する前は、重機の輸入に関わる仕事をしていました。当社に入社できとても嬉しく思っています。ここでは、インドネシア人スタッフと日本人スタッフの両方を、家族のように感じることができます。当社はインドネシアで馴染みのない特殊な機械を使用し、他の建設会社には出来ない専門工事を行うスペシャリストであり、全ての現場は挑戦だと感じます。インドネシアの専門工事会社として、さらに発展し、ナンバーワンとなるよう、今後も、鋭意努力していきます。

アングン　アストリニ（ANGGUN ASTRINI）
所属：PT NTTOC CONSTRUCTION INDONESIA　　国籍：インドネシア

私は、法学の学士を取得しており、PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAの管理部門に新設された法務スタッフとして従事しています。当該職務は、私のバックグラウンドと知識を活用できる最初の仕事です。日本の建設会社で働くのもこれが初めてです。日々の業務を通し、法務分野の知識、スキルを研鑽し、法規制の順守を強化し、法的な不利益から会社を保護するために鋭意努力しています。

当社の職場環境は素晴らしく、同僚職員も、魅力的な人ばかりです。当社が、インドネシアで地盤改良工事と防災工事のナンバーワンの専門工事会社となるよう、常に最善を尽くして成長し、貢献していければと考えています。

テリ　ユダ　ファテュラフマン（TRI YUDHA FATHURRAHMAN）
所属：PT NTTOC CONSTRUCTION INDONESIA　　国籍：インドネシア

環境活動

● 環境方針

当社では、環境問題への取り組みは企業価値の向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。特に、当社がかかわる特殊土木分野において地球環境の保全に貢献できる技術・製品・サービスの提供は、当社の重要な社会的責務であると考えています。新しい技術・製品を社会に提供する研究開発業務に携わる技術開発本部では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得して、それら責務の達成に取り組んでいます。

1.技術開発本部は、地球環境の保全活動を事業活動の一つと位置付ける。地球環境への負荷低減を目指し環境マネジメントシステムの改善を図るとともに継続的向上に努める。

2.限りある資源の有効利用と環境への負荷低減に向けた資源循環社会の形成に効果的な研究・開発の推進を図る。

3.廃棄物量低減、リサイクル率向上、省資源、省エネルギー、生態系保全、景観保全、環境保全型商品利用の促進、気候変動への適応などを目指した活動を推進する。

4.環境関連の法規制、協定書、顧客及び業界の要求事項を遵守し、環境保全に関する社会的責務を積極的に果たす。

5.技術開発本部の要員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努める。

6.顧客及び地域社会との協調を図るため、必要に応じ環境方針及び環境保全活動の実施状況を公開する。

● 環境マネジメントシステム

日特建設株式会社技術開発本部は、環境方針に基づき環境マネジメントシステムを構築し、環境管理活動を推進しています。

登録番号	JSAE222
初回登録日	2000 年 3 月 24 日
更新日	2021 年 3 月 24 日
有効期限日	2024 年 3 月 23 日
適用規格	JIS Q 14001:2015、ISO14001:2015
登録範囲	環境、防災、都市再生、維持管理関連の建造物及び施工方法等に関する研究・開発及び品質試験

登録証

● 研究開発での取組み

技術開発本部では、すべての研究開発テーマを、地球環境の保全に貢献できるものと位置付けて取り組んでいます。開発を行う製品・サービスの環境に対する影響を把握し、廃棄物量低減、リサイクル率向上、省資源、省エネルギー、生態系の保護など地球環境保全に貢献できる技術・製品の開発、提供を目指します。また、開発業務実施にあたっても、省エネルギー、省資源・リサイクル、廃棄物の管理のほか、環境保全型商品利用の促進などを進め、資源の有効活用と環境への負荷低減に努めています。

2021年度は、最優先テーマ4件について開発を促進し、年度計画を100%達成することができました。2021年度に開発した工法などについては、ホームページに掲載しています。開発した成果の外部への公表や、知的財産の取得にも積極的に取り組んでおり、これまでに開発した環境保全技術の社会実装を進め、環境改善や負荷低減に取り組んでいます。

＜産業廃棄物を低減する技術＞

従来、老朽化した吹付のり面を補修する際は、既設モルタル・コンクリート吹付のはつり取りが必要なため、はつり取ったコンクリート殻が産業廃棄物となっていました。ニューレスプ工法は、これらをはつり取らずに補修補強するため、産業廃棄物を低減できます。また、現地発生材やチップ材をニーズに合わせてリサイクルするのり面緑化工法も各種そろえています。

ニューレスプ工法

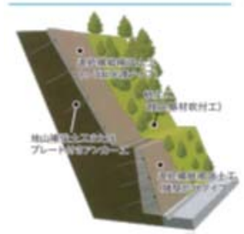
リサイクルのり面緑化工法

＜CO2排出量を低減する技術＞

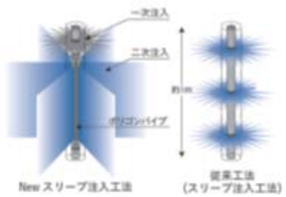
セメントの製造過程では多量のCO2を排出します。ジオファイバー工法は、繊維と砂で構成される補強土工法であるため、セメントを使用する必要はありません。そのため、セメント構造物である従来の吹付のり枠工法に比べ、CO2の排出量は40%削減することが可能です。

Newスリーブ工法は、従来工法よりも注入区間長が長く浸透性能が高いため、注入間隔を広くでき、注入孔数が最大で1/4に削減できる、地盤注入工法です。そのため工期短縮による使用燃料の削減や使用資材の削減が図れ、従来技術よりも46%のCO2削減が可能です。さらに注入材料として高炉スラグ微粉末を主材とするMXグラウトを使用することで、一般的なセメントを主材とする注入材料を使用した場合に比べ、さらなるCO2の削減が可能となります。

ジオファイバー工法



New スリーブ注入工法



社会貢献 －1

当社は、社会から信頼される企業を目指し、全国各地で様々な社会貢献活動を推進しています。
その中から主なものをご紹介します。

現場見学会・インターンシップ

当社担当の工事等を理解していただくことや将来の建設業を担う学生のために、現場見学会やインターンシップを各地で開催しています。

■東京支店　インターンシップ

（東京都　2022 年 1 月）

協力会社とともに、建設業界への入職のきっかけづくりのインターンシップとして、大学 3 年生を 8 名を受け入れました。工事は、地盤改良工事のサンドコンパクションパイル工法について、目的や工事の手順などを説明しました。

参加した学生達は、メモをとり、熱心に説明を聞き、質問するなど、熱心に学んでいただきました。

■大阪支店　災害復旧現場の現場見学会

（京都府　2021 年 9 月）

地元の小学校に在籍する生徒 5 名および教員 2 名を当該現場へ招き、土木工事に興味を持っていただく目的で現場見学会を開催しました。見学会に先駆けて、教員より事前に質問事項をあげて頂き、現場事務所で応答を行ったり、本工事の目的・趣旨を説明しました。現場見学では日常生活で経験できない法面工事、機械・器具を見たり、通常入ることのできない軌道内に入ったりと土木工事について興味を持ってもらうことができました。参加した生徒から後日興味深かった、楽しかった等の内容の感謝の手紙を頂きました。

■九州支店　カエルドグリーン吹付体験会

（長崎県　2021 年 11 月）

国土交通省 九州地方整備局長崎河川国道事務所主催による、本名川ダム建設事業における環境保全の取り組みを「体験」し「共有」することを通じて、本名川ダムへの親しみ・関心を高めていただくための見学会に当社も協力しました。当日は、地元小学生 11 名と教師 2 名を招き、工事現場見学会他を実施し、参加した小学生たちに実際に吹付ノズルを持ってもらい、吹き付けの体験会を行っていただきました。

地域貢献

当社では、現場周辺の住民の方々や地域への貢献活動も積極的に推進しています。

■東北支店　海岸防災林再生メンテナンス活動

（宮城県　2021 年 4 月）

東日本大震災による津波で流失した海岸防災林の再生活動です。2014 年の植樹から時間が経過し、成長した木々は所によって生育に違いがありますが、低いところでも 1.5mほど、高いところでは 4mほどに成長しています。当日は、支店長をはじめ東北支店社員 7 名でメンテナンス作業を行いました。作業は肥料をまいたり、下草を刈るなどです。今後も定期的にメンテナンスを続け、この活動を続けていく予定です。

■東北支店　富沢ふれあいまつり

（宮城県　2021 年 10 月）

支店のオフィスの隣にある仙台市富沢市民センター主催の富沢ふれあいまつりに今年も協力させていただきました。2020 年度はコロナウイルス感染予防のため中止となりましたが、今回 2 年ぶりの開催にあたり、当社は来場者に駐車場（20 台分）を提供し、また社員による誘導を行いました。

当日は駐車場内で、当社の社員 3 名の駐車場の誘導員や案内係を行いました。

※集合写真撮影時のみマスクを外しています。

■北陸支店　ECHIGO 棚田サポーター

（新潟県　2021 年 6 月･8 月）

ECHIGO 棚田サポーターとは、棚田を愛し、地域の方々と一緒に棚田を守るため、新潟県にある県農地部職員を中心に結成されたグループです。その目的に賛同した北陸支店の有志は、今年も新潟県各地の棚田の草刈り、清掃に協力しました。2021 年度は、6 月、8 月に支店社員 5 名で参加しました。

【活動内容】
佐渡市小倉地内岩根沢地区 / 新潟県柏崎市門出地区
棚田の草刈り・水路清掃

■広島支店　山口県防災・砂防ボランティア協会における砂防施設点検活動　（山口県 2022 年 1 月）

土砂災害を未然に防ぐことを目的として、行われている防災・砂防ボランティア協会による砂防施設点検活動に今年も参加しています。点検活動は、山口県土木建築部砂防課と協力し、県内の土砂災害危険箇所である急傾斜地や地すべり防止区域、そして砂防施設などを点検しました。

今回も県土木部、協会関係者の方など 50 名以上で山口県内の砂防ダムを点検し、今回は 6 名のグループで行いました。点検は、前回の点検箇所に著しい変状が発生していないかなどを確認していきました。

清掃活動

現場周辺や支店周辺の清掃活動を積極的に行っています。

■札幌支店　町内のごみ清掃活動

（北海道　2021 年 4 月）

4 月 16 日、株式会社草塩建設主催の登別市内のごみ清掃作業に当社も参加いたしました。札幌支店より 10 名、総勢 50 名で、道路沿いを 2Km にわたり清掃を行いました。清掃は、雑草の除去がメインで、その他、空き缶やたばこの吸い殻などを集めました。この活動は、毎年 4 月に行われ、当社も参加しています。今後も、定期的にこの活動に参加していきます。

社会貢献 -2

● 清掃活動等　現場周辺や支店周辺の清掃活動を積極的に行っています。

■東北支店　桂浜海水浴場清掃活動　（秋田県　2021 年 6 月）

6 月 25 日、秋田県ジオファイバー協会の会員とともに、秋田市浜田の桂浜海水浴場の清掃活動を行いました。当社の社員 5 名を含めた 7 社 18 名が参加しました。清掃活動はそれぞれ班ごとに分かれ、人の背丈ほどに茂った雑草の刈り込みや、空き缶、ペットボトル等のごみ拾いを行いました。海開きをしない中での、清掃活動でしたが、定期的な作業で地元の環境整備に微力ながら貢献させていただくことができました。今回も新型コロナウイルス感染の予防のため、密にならないように行いました。この活動は、2007 年から 15 年続いて参加しています。今後も継続して参加していきます。

■東北支店　道路清掃奉仕活動

（青森県　2021 年 10 月）

10 月 23 日、青森県のジオファイバー協会の会員企業の方々と一緒に、県道 27 号線、青森市高田朝日山～浪岡王余魚間の約 8ｋｍの清掃活動を行いました。当社の青森営業所の 4 名を含めた 11 社総勢 25 名が参加して、道路沿いのゴミを拾い、8ｋｍの道のりの清掃活動を行いました。ゴミを可燃、不燃に分別して集め、家電などの不法投棄は、別に役所に報告を行いました。今年も写真のように多くのゴミを集めることができました。昨年は新型コロナウイルスの影響で開催されず、２年ぶりの開催となりました。

■大阪支店　現場周辺の清掃活動

（京都府　2021 年 10 月 ~2022 年 3 月）

工事期間中の 2021 年 10 月より 2 カ月に 1 回程度の頻度で、現場周辺の道路及び駅舎付近の清掃活動を実施しました。協力業者社員と合わせて総勢 10 人程度で、朝の業務前などに行いました。現場周辺はパワースポットで有名な貴船神社の入り口に位置する場所で、近辺には天狗伝説で有名な鞍馬寺があるため、1 年中、非常に多くの観光客が訪れます。観光客の方々に気持ちよく観光して頂くために、周辺のゴミや落ち葉などを集め清掃しました。

■広島支店　クリーンボランティア支援事業

（広島県　2021 年 4 月～ 2021 年 10 月）

2021 年 4 月より、会社近くの河川脇遊歩道を 3 ヵ月に 1 回の割合で清掃活動を行っています。清掃は、主に広島支店の内勤者で、夕方から 20 名ほどで行います。通常は、街中のゴミの為、ペットボトルや紙ごみなどが多いのですが、秋に実施したときは落葉が一番多く、1 回の清掃で透明ポリ袋 20 個程度の大量のゴミが出ました。今後も広島支店では、近隣の清掃活動を定期的に続けていきます。

■九州支店　旧玉名干拓施設の草刈り清掃活動

（熊本県　2021 年 10 月）

旧玉名干拓は、江戸時代初期の熊本藩主、加藤清正によって本格的に始められて以降、連綿と続けられた干拓の遺構が残る施設です。この旧玉名干拓施設である延長 5.2ｋｍにわたる大規模な干拓施設群が、国指定の重要文化財となっています。

玉名市横島町文化財保存顕彰会主催による旧玉名干拓施設で草刈り清掃活動が実施され、総勢 390 名が参加しました。当社からは 3 名参加し、石垣周辺に生えた雑草を取り除く作業をしたほかゴミ拾い清掃も行いました。

● 社会福祉活動

当社は、子ども食堂の活動やパラスポーツの振興・普及活動に協力しています。

■子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」への支援箱を設置

（東京都　2020 年 9 月 ~）

当社の本店事務所内に子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」の募金箱を設置しました。子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」は、「子どもがお腹を空かせているのに食べるものがない、親が働きに出ていて一人寂しく家で会話もなく食事をしている。『そんな環境を少しでも減らしてあげたい』」との思いから、始められたもので、当社もその考えに賛同し、募金活動に協力しています。

■パラリンアートの活動を支援

（2021 年 9 月 ~）

当社は、「障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる」を理念に、障がい者アート事業を行うパラリンアート（一般社団法人　障がい者自立推進機構）の活動に賛同し、本年度より、ブロンズパートナーとして契約しています。当社ではアート作品の展示を通じて、パラリンアートの活動を支援し、障がい者の社会参加と経済的自立を支援に協力していきたいと考えております。そこでその活動のひとつとして 2022 年 1 月より、パラリンアート所属アーティストの作品を各支店現場の仮囲いに展示する取り組みを始めています。

※集合写真撮影時のみマスクを外しています。

■シーズアスリート法人会員を支援

（2019 年 8 月～）

2019 年 8 月より「障害者スポーツ選手雇用センター (シーズアスリート C's Athlete)」の法人会員に加入しています。

シーズアスリートは株式会社麻生のグループ会社である株式会社アソウ・ヒューマニーセンターが、障害者の新しい雇用開発と障害者スポーツの振興を目的に設立した団体です。またオリンピック (パラリンピック) への出場を目指している選手を支援しています。当社は、この主旨に賛同し、シーズアスリートの活動を支援、協賛しています。